NO.

090

教育 教育の機会格差

A Fair Start for Every Child?

すべての子どもに公平なスタートを？

英文の音声

レベル ★★☆ やや難 | 273語 | 熟語12個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 In principle, education should give every child a fair start. In practice, a child's chances often depend on the family he or she is born into. Studies in many countries, including Japan, have found that students from wealthier families are more likely to go on to university.

2 The gap appears early. A family that ❶**is anxious about** paying the rent may ❷**be unable to** afford cram schools, while other children spend their evenings in classes that prepare them for entrance exams. Some students also ❸**struggle with** duties at home, such as caring for younger siblings or a sick parent, which leaves little time for homework.

3 Even talented students may give up on university because of the cost. Many depend on student loans, which they must ❹**pay back** after graduating, sometimes for more than a decade. Others never apply at all: simply having to ❺**fill out** long forms can discourage families who have no one to ask for advice.

4 Governments and schools have tried to respond. In recent years, Japan has expanded scholarships that do not have to be repaid, and some universities ❻**give priority to** students from low-income families. Still, some observers ❼**criticize the government for** moving too slowly. It is unfair, they argue, to ❽**require effort of** young people without giving them the means to succeed.

5 Admittedly, money alone does not decide a future. Many students ❾**make the best of** limited resources and succeed ❿**in the face of** great difficulty. But such stories should not ⓫**put pressure on** every disadvantaged child to become a hero. A fair society is one in which children can develop their abilities ⓬**regardless of** their parents' income.

語注 **in principle** 原則として **sibling** きょうだい **discourage** やる気をなくさせる **disadvantaged** 恵まれない・不利な立場の **income** 収入

この英文の熟語 IDIOMS 12個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 be anxious about ~ ～を心配している □□□

about の後ろは心配の対象。be anxious to do / be anxious for ~ は「～したがっている・切望している」で意味が違う点が頻出 例 *She is anxious about her mother's health.* 彼女は母親の健康を心配している。

2 be unable to do ～することができない □□□

be able to do の否定。cannot と同じ意味だが、助動詞と一緒に使える（will be unable to do）。名詞は inability 例 *He was unable to attend the meeting.* 彼は会議に出席できなかった。

3 struggle with ~ ～と格闘する・～に苦労する □□□

困難・問題・病気などと苦しみながら取り組む。struggle to do（～しようと奮闘する）の形も多い 例 *Many students struggle with math.* 多くの生徒が数学に苦労している。

4 pay back ~ （借りたお金）を返す □□□

back＝元へ。repay と同じ。pay A back（A にお金を返す）、pay back a loan（ローンを返す）の形が多い。「仕返しする」の意味もある 例 *I will pay back the money next week.* 来週そのお金を返します。

5 fill out ~ （書類）に記入する □□□

空欄を埋めて書類を完成させる。fill in ~ とほぼ同じ（fill in は空所、fill out は書類全体というニュアンス） 例 *Please fill out this form and hand it in.* この用紙に記入して提出してください。

6 give priority to ~ ～を優先する □□□

priority＝優先（事項）。give top priority to ~（～を最優先する）。名詞 priority の前に the は付けないのが普通 例 *The hospital gives priority to emergency patients.* その病院は救急の患者を優先する。

7 criticize A for B B のことで A を批判する □□□

理由の前は for。blame A for B / praise A for B と同じ型。名詞 criticism、人は critic（批評家） 例 *The newspaper criticized the mayor for his decision.* 新聞は市長の決定を批判した。

8 require A of B B に A を要求する □□□

of の後ろが要求される人。ask A of B と同じ型。require B to do（B に～するよう求める）の形も重要 例 *The job requires patience of everyone.* その仕事は誰にでも忍耐を要求する。

9 make the best of ~ （不利な状況）を何とか切り抜ける・最大限に生かす □□□

不利な条件の中で最善を尽くす。make the most of ~ は「（よい機会）を最大限に利用する」で、よい条件に使う点が違う 例 *We had to make the best of the bad weather.* 私たちは悪天候の中で何とかやりくりしなければならなかった。

10 in the face of ~ ～に直面して・～にもかかわらず □□□

困難・危険などを前にして。in spite of ~ に近い意味でも使う 例 *She stayed calm in the face of danger.* 彼女は危険を前にしても落ち着いていた。

11 put pressure on ~ ～に圧力をかける □□□

put pressure on A to do（A に～するよう圧力をかける）の形が多い。be under pressure（重圧を受けている） 例 *Parents should not put too much pressure on their children.* 親は子どもに圧力をかけすぎるべきではない。

12 regardless of ~ ～に関係なく □□□

regard（注意）がない→～を気にせず。irrespective of ~ と同じ。regardless of age / gender / nationality が定番 例 *Anyone can join the club regardless of age.* 年齢に関係なく誰でもそのクラブに入れる。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第2段落で、宿題の時間がほとんど残らない生徒の例として挙げられているのはどれか。

① 夜遅くまで塾で入試の授業を受けている生徒。
② 弟や妹、病気の親の世話をしている生徒。
③ 部活動で毎日遅くまで練習している生徒。
④ アルバイトで家賃を払っている生徒。

問2 第3段落によると、大学に申し込まない人がいる理由の一つは何か。

① 大学の数が少なすぎるから。
② 奨学金が多すぎて選べないから。
③ 長い書類に記入する手続きに、相談相手のいない家庭がくじけてしまうから。
④ 卒業してもすぐに働けないから。

問3 What is the author's main argument in the last paragraph?

① Money decides everything about a child's future.
② Society should not rely on individual heroes but give every child a fair chance.
③ Children from poor families should work harder than others.
④ Successful students should help their parents pay the rent.

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 〜を心配している

2 〜することができない

3 〜と格闘する・〜に苦労する

4 （借りたお金）を返す

5 （書類）に記入する

6 〜を優先する

7 B のことで A を批判する

8 B に A を要求する

9 （不利な状況）を何とか切り抜ける・最大限に生かす

10 〜に直面して・〜にもかかわらず

11 〜に圧力をかける

12 〜に関係なく

背景知識 教育格差とは、家庭の収入や親の学歴、住む地域などによって子どもの学力や進学の機会に差が生まれること。塾や習い事にかかる費用、家で勉強できる環境、家族の世話をする「ヤングケアラー」の問題などが関係する。日本の奨学金は返済が必要な貸与型が中心だったが、近年は返済のいらない給付型が拡充されてきた。入試では「個人の努力」と「社会の仕組み」のどちらを重く見るかという対立がよく論点になる。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 原則としては、教育はすべての子どもに公平なスタートを与えるはずのものだ。しかし実際には、子どもの可能性は、生まれた家庭に左右されることが多い。日本を含む多くの国の研究で、裕福な家庭の生徒ほど大学に進学しやすいことが分かっている。

2 差は早くから現れる。家賃を払えるか**心配している**家庭は、塾の費用を**払えない**かもしれない。その一方で、夜を入試に備える授業で過ごす子どもたちもいる。また、弟や妹、病気の親の世話など、家での務め**と格闘している**生徒もいて、宿題をする時間がほとんど残らない。

3 優秀な生徒でさえ、費用のために大学をあきらめることがある。多くの学生は貸与型の奨学金に頼るが、それは卒業後、時には10年以上にわたって**返さ**なければならない。まったく申し込まない人もいる。相談する相手のいない家庭は、長い書類**に記入し**なければならないというだけで、やる気をなくしてしまうことがあるのだ。

4 政府や学校は対応しようとしてきた。近年、日本は返さなくてよい奨学金を拡充し、低所得の家庭の学生**を優先する**大学もある。それでも、動きが遅すぎると**政府を批判する**人もいる。成功する手段を与えずに**若者に努力を求める**のは不公平だ、と彼らは主張する。

5 確かに、お金だけで将来が決まるわけではない。多くの生徒が限られた条件**を最大限に生かし**、大きな困難**に直面しながらも**成功している。しかし、そうした話を理由に、恵まれない子ども全員に英雄になれと**圧力をかける**べきではない。公平な社会とは、親の収入**に関係なく**子どもが能力を伸ばせる社会なのである。

要旨 子どもの教育の機会は家庭の経済状況に大きく左右され、費用や手続きの壁が進学をはばむ。努力する個人を称えるだけでなく、収入に関係なく能力を伸ばせる仕組みが必要である。

解答・解説 ANSWERS

問1 2 **問2 3** **問3 2**

問1 正解 2 根拠は第2段落の Some students also struggle with duties at home, such as caring for younger siblings or a sick parent, which leaves little time for homework。よって 2 が正解。1 の塾に通う子どもは、むしろ裕福な家庭の例として対比されている。3 の部活動は本文に出てこない。4 は家賃を心配するのは家庭（A family）であって、生徒がアルバイトで払っているとは書かれていない。

問2 正解 3 根拠は第3段落の Others never apply at all: simply having to fill out long forms can discourage families who have no one to ask for advice。コロンの後が理由の説明なので 3 が正解。1 の大学の数は書かれていない。2 の奨学金が多すぎるという話もない。4 の卒業後すぐに働けないことも理由として挙げられていない。費用の問題（貸与型の返済）と手続きの問題が別々に述べられている点に注意。

問3 正解 2 根拠は最終段落の such stories should not put pressure on every disadvantaged child to become a hero と A fair society is one in which children can develop their abilities regardless of their parents' income。個人の英雄に頼らず、誰にでも公平な機会を与えるべきだという 2 が正解。1 は money alone does not decide a future に反する。3 は英雄になれと圧力をかけるべきでないという主張と逆。4 の家賃の話は最終段落にない。